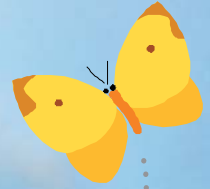


日赤なごや

Vol. 19
2008. May

CONTENTS

- ◆ 地域がん診療連携拠点病院に指定
- ◆ 糖尿病療養指導士の活動紹介
- ◆ 肝臓「沈黙の臓器」
- ◆ くすりの知識⑧
～くすりとは何でしょう(3)～



心かよう信頼の医療
そこには、いつも「真心」と「笑顔」があります

＋ 地域医療支援病院
名古屋第一赤十字病院

理念〈私たちの誓い〉

- 私たちは医療の倫理を守り、赤十字の人道博愛精神のもとに、皆さまと共に医の道の理想を追究いたします。
- 皆さまとの出会いを一期のごとく心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。
 - 皆さまとの厚い信頼に立って、お互いに心を開き、明るく優しい環境のもと、日々を清澄な心で奉仕します。

基本方針

1. 患者さま本位の医療と安心できる癒しの場を作ります。
2. 高度で良質な医療をします。
3. 救急医療を充実します。
4. 病診連携を推進し、一貫したきめ細かい医療を行います。
5. 医療関係者の教育・研修を推進し、治療・看護・介護・福祉を実践します。
6. 災害救護と国際救援活動を積極的に行います。
7. 健全経営を維持し、この基本方針を達成いたします。



地域がん診療連携拠点病院に指定



野村 史郎
呼吸器科部長兼
化学療法科部長

平成20年2月に当院も地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。地域がん診療連携拠点病院は2次医療圏といつて

医療法で規定されたある一定の範囲に1つ程度の割で厚生労働省が指定し、都道府県に1つある都道府県がん診療連携拠点病院、愛知県で言えば、愛知県がんセンター中央病院と協力してがん医療を行っていく仕組みになっています。

愛知県のがん対策の目的は、がんの罹患率及び死亡率を減少させること、もしくは苦痛を和らげつつ治療を行い、がん患者さんの療養生活の質の維持向上を図ることとあります。われわれの病院もこの目的を達成させるために愛知県と協力して、がん患者さんとその家族に対して高度ながん医療を提供すると同時に、地域のがん診療の拠点病院として地域の医療機関と連携して地域のがん医療全体のレベルアップに努めます。また、医療従事者が研修等を通じて必要な知識を習得しやすいような職場環境や制度の整備を原とともに推進するよう努めます。

平成20年4月から新たに化学療法科が新設されました。また人材不足で十分に機能を果たすことはできませんが、今後は各科と協力してより安全に、また安心してそして快適に化学療法を受けていただけるように努めてまいります。

がん診療連携拠点病院とは？

ウィキペディア(Wikipedia)に「がん患者の生存率を高める目的で全国に整備された病院のこと」

となっております。分かりやすく言いますと、全国どこにいても質の高いがん医療を受けることができるように「第3次対がん10か年総合戦略」の一環として「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づいて厚生労働省が指定した病院のことです。当院も平成20年1月17日に開催された「第4回がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会」を経て、2月8日付けで厚生労働大臣より地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。

がん診療連携拠点病院には？

都道府県に概ね1カ所指定される都道府県の中心ながん診療機能を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」と2次医療圏に1カ所程度指定される「地域がん診療連携拠点病院」があります。愛知県の都道府県がん診療連携拠点病院は愛知県がんセンター中央病院です。

愛知県における当院のがん診療連携拠点病院としての役割は？

220万人を超える大規模な人口を有する名古屋医療圏では複数のがん診療連携拠点病院に機能分担をさせ、県内全域でがん診療の均てん化を実現するためのネットワークを構築いたします。名古屋西部を担当いたします当院は、愛知県のがん医療において特に血液腫瘍(骨髄移植)および緩和ケアの拠点として位置づけられています。

今後の取り組みは？

「あいちのがん診療連携拠点病院の取り組み」にしたがって、診療体制をさらに充実させていきます。平成20年4月より化学療法科が新設され、薬剤部、看護部、放射線部と協力して、より多くのがん患者さんに満足していただけるがん診療を安全に行うよう努力してまいります。

糖尿病療養指導士の活動紹介

管理栄養士 若生 靖子

当院で糖尿病療養指導士資格をもった管理栄養士は2名。主に、生活指導研究会・クリティカルパスによる糖尿病教育入院1週間コースとカンファレンスなど糖尿病医療チームとして他職種と連携をとりながら活動しています。

糖尿病療養の中で最も大切な食事。管理栄養士のその指導内容は、**【入院栄養指導】**

集団指導(教育入院患者3~5名対象)

○食事療法の必要性と基本的な考え方、食品交換表の使い方と献立の立て方。

○合併症の食事について。

個別指導

○個々の患者にあった適正エネルギー量の量と栄養バランスについて具体的に説明。

○病院食と家庭内食の比較により問題点を見つけ、アドバイス。

【外来栄養指導】

個別指導

○食事療法の基本から応用。

○外食から中食、コンビニ食を含め具体的なポイントを絞って指導。

○アルコールや嗜好品の上手な付き合い方。

○患者のペースに合わせた食生活のアドバイス等。

正しい食事療法が実行できているか、今一度、食習慣を振り返り栄養のチェックをしてみませんか？主治医と相談の上、栄養相談室へいらしてください。糖尿病の食事とともに、糖尿病療養に関することも合わせて聞きましょう。

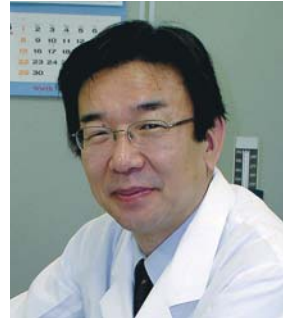
上手に糖尿病と付き合っていくには、合併症を予防するために定期的に、そして継続して栄養指導を受けられることをお勧めします。



【糖尿病食事療法の原則】

- *適正なエネルギー量を守る
- *栄養のバランスを図る
- *規則的な食習慣を守る

肝臓「沈黙の臓器」



山口 丈夫
第二消化器科部長兼
総合診療科部長

代謝、解毒などの多くの機能において重要な役割を担っています。あまりにも多機能であるため人工臓器を造ることは困難とされています。

肝臓は再生や代償能力に優れ、多少の障害を受けても残った正常細胞が余分に働き、機能を維持します。肝臓に異常があってもなかなか気付かれず、異常に気付いたときには病気がかなり進んでいることがあります。そのため「沈黙の臓器」と呼ばれています。

肝臓病は症状が出にくいために検査が重要です。検査には大きく分けて、血液検査、超音波やCTなどの画像検査、肝臓の細胞を採取して調べる肝生検の3つがあります。それらの検査により肝臓病の診断をします。

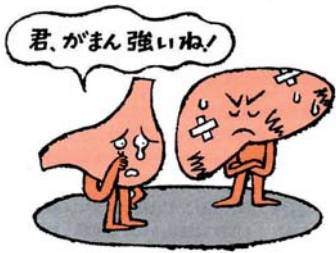
肝臓病のなかでも多いのは脂肪肝と肝炎です。脂肪肝とは、肝臓に脂肪が多く蓄積した状態です。原因としては、過栄養が多く、その他にアルコール、薬剤、妊娠などがあります。肥満やアルコールが原因の脂肪肝は生活習慣を改善することで治る比較的小さい病気です。しかし、生活習慣を改善することなくそのままの生活を続けてしまうと、さらに肝機能が低下して、脂肪肝から肝炎、肝硬変、ついには肝臓がんを引き起こす可能性があります。

肝臓とは、腹部の右上の肋骨の下に位置して、アルコールを分解や十二指腸に胆汁を分泌する消化をはじめ

肝炎とは、なんらかの原因で肝臓に炎症が起こり発熱、黄疸、全身倦怠感などの症状を来す疾患の総称です。肝炎の原因は様々で、ウイルス、アルコール、薬剤、自己免疫などがあげられます。日本ではA、B、C型などの肝炎ウイルスによる肝炎が多く80%をしめています。症状はその原因に関わらず似ています。発症の仕方や症状の経過から大きく3つに分類されています。突然的に発症し一過性の急性肝炎、6ヶ月以上症状のおさまらない（検査数値が正常に戻らない）慢性肝炎、急性肝炎のうち特殊なもので1ヶ月以内に死に至ることが多い劇症肝炎の3つがあります。急性肝炎の時は安静にしておくことが基本です。栄養を十分に取れないときには点滴により栄養を補います。しかし、B型肝炎やC型肝炎の方の中には炎症が治まらずに慢性化し、肝庇護剤やインターフェロン療法などの薬による治療が必要になる場合もあります。

肝臓を守るためには肝臓に負担となる原因である肥満、糖尿病、アルコールの飲みすぎを改善することです。肝臓が沈黙を破る前に、食生活の改善と適度な運動をしましょう。

そしてアルコールを飲みすぎないことも大切です。



肝臓は沈黙の臓器

★新任部長の紹介★ 4月1日付

血液内科…小澤 幸泰 輸血部長
呼吸器外科…森 正一 呼吸器外科部長

正しい薬の飲み方

お薬の知識 ⑧

くすりとは何でしょう(3)



生薬と漢方をご存知ですか。日本の生薬は、漢方処方や民間伝承の和薬などの東洋医療で用いられる天然由来の医薬品すべてをさしています。漢方医学の影響が大きいので、生薬と漢方薬とが混同されている方が多いのではないのでしょうか。

生薬は漢方医学以外にも、民間薬として単独で使用することがあります。動植物の一部、細胞内容物、分泌物抽出物、鉱物など、天然物(植物、動物、鉱物)から生産されたものを言います。そして、貼薬のようにそのまま使う場合もありますが、多くは煎じ薬やエキス剤、チンキ剤など、加工してから用います。注射剤として用いるものはなく、多くは、経口剤が貼薬として服用します。生薬の品質は、日本薬局方により、きちんと決められています。

一方、漢方薬とは複数の生薬を漢方医学の理論に基づいて組み合わせた処方であり、五千年にも及ぶ長い中国の歴史の中で継承されたものです。例えば、葛根湯、小柴胡湯、当帰芍薬散、八味地黄丸などの漢方薬名がつけられています。もともと漢方薬は、浸剤、煎剤として用いられてきましたが、最近では、漢方エキス製剤などがあり、飲みやすくなりました。また一部は、健康保険の適用を受けているものもあります。

生薬も漢方薬も効き目が穏やかで好まれる方が多いようですが、一方では、副作用の発現にも注意していただきたいものです。



外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。

2008年5月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	榛葉
		PM今橋	PM塚本	PM榛葉 PM西脇	PM瀬戸	PM渡邊
	内分泌	村瀬	村瀬	山守	村瀬	山内
		(山内)	(山守)	—	(山守)	(村瀬)
	腎臓	青山	市田	—	堀	市田
	神経	加藤	真野	後藤	真野	後藤
		若山	若山	加藤	中村	櫻井
	循環器	神谷	花木	大野	大野	柴田
		(交代)	三浦	神谷	柴田	小栗
		三浦	—	片岡	—	PM山村
呼吸器	新患	酒井	横山	伊藤	野村	田中
	再診	野村	田中	横山	酒井	野村
消化器	新患	伊東	春田	伊東	山口	春田
		山田	山口	鷲見	山田	氏原
	再診	松下	氏原	平山	野畑 PM松下	鷲見
※初診時に予診(医師による問診)を行った後、各専門外来を受診していただきます。						

小児科	午前	羽田野	加藤	松本	羽田野	河井
		鈴木	糸見	生駒	鬼頭	近藤
午後	岸	永田	安田	羽田野(さ)	吉田	
	兵藤	横塚	坂口	土居崎	孫田	
後(専門外来)	循環器	羽田野	—	—	—	—
	血液	—	加藤	—	松本	加藤
	神経	—	—	近藤	糸見	夏目
	腎臓	—	月舘	—	—	月舘
	新生児発達	鬼頭	—	—	—	—
	フォローアップ	横塚/孫田	鈴木	—	安田	—
予防接種	—	(交代)	—	—	—	
乳児健診	—	—	(交代)	—	—	
※予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						

外科	一般消化器外科	宮田	竹内	小林(陽)	長澤	宮田
		三宅	大森	湯浅	PM竹内	三宅
乳腺・内分泌外科	村田	—	田畑	—	雄谷	
	—	—	PM小林(俊)	—	—	
心臓外科	—	PM後藤	後藤	後藤	—	
	山名	伊藤	阿部	—	河村 PM中山	
血管外科	—	錦見	—	永田	—	
呼吸器外科	PM石黒	PM森	—	—	森	
小児外科	津田	—	—	津田	—	

形成外科	午後	林/菱田	—	菱田	—	林
※月・水・金曜日 13時から診療開始いたします。						

整形外科	大澤	堀井	井上	堀井	大澤
	井上	藁科	青木	藁科	青木
	服部	松下	松下	服部	広石
	松本	米田	松本	広石	米田

診療科目	月	火	水	木	金
脳神経外科	稲尾	(交代)	稲尾	(交代)	池田
	長坂		告野		岡本

皮膚科	新患	臼田	山崎	石川	廣田	松本
	再診	北村	北村	北村	北村	北村
		太田	太田	太田	太田	太田

泌尿器科	加藤	村瀬	山本	鈴木(弘)	村瀬
	吉田	山本	鈴木(弘)	加藤	古橋
	—	—	PM加藤	—	—

女性泌尿器外来	—	加藤	鈴木(省)	—	—
※新患は(水)もしくは(木)にご来院ください。 ※鈴木(省)先生の診察は産婦人科外来にて行います。					

産婦人科	新患	石川	石川	石川	石川	石川
	再診	堀	水野	—	水野	南/廣村
	生殖内分泌・内視鏡	安藤	安藤	—	PM高橋	安藤
	妊婦診	廣川(交代)	古橋	南(二)(交代)	吉田	—
助産師外来	—	—	助産師	—	助産師	

眼科	新患	佐藤	山腰	佐藤	佐々木	(交代)
	再診	杉田	—	山腰	—	佐藤
		山腰	—	佐々木	—	久野
		佐々木	—	—	—	佐々木/山腰

耳鼻咽喉科	新患	鈴木	内木	植田	西川	古橋
	再診	植田	鈴木	内木	植田	内木
		古橋	西川	鈴木	古橋	西川

リハビリテーション	青木/堀井	井上	大澤	大澤/井上	藁科
-----------	-------	----	----	-------	----

放射線科	山田	山田	山田	山田	山田
	※詳しくは受付にお問い合わせください。				

歯科 口腔外科	新患	大岩	藤原	(交代)	渡邊	(交代)
	再診	藤原	大岩	—	大岩	—
		渡邊	佐藤	—	藤原	—
	佐久間	橋本/野田	—	佐藤	—	
※口腔外科診療のみで、通常の歯科診療は行っておりません。						

◎休診情報はホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

外来診療のご案内

お問い合わせ先電話 052-481-5111(代表)

- **初診** 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、(初めて受診される方) 保険証・紹介状・各種医療証等を添えて、新患受付にお出ください。
- **診療受付時間** 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- **診療時間** 午前8時50分～午後5時30分
- **休診日** 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- **セカンドオピニオン 専門外来** 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。患者相談室 電話 052-485-3503(直通)

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- **健康管理センター** 電話にてお問い合わせください。(予約制です。)
- **受付時間** 月～金曜日(休診日を除く) 午前8時50分～午後5時30分 電話 052-471-3855(直通)